

## 就業体験（インターンシップ）・職場体験の取組

県立伊良部高等学校

### 1 本校のキャリア教育の特色

本校では、積極的に地域社会に貢献できる力の育成や、学習意欲や知的好奇心の向上、課題発見・課題解決能力の育成を目標に探究的学習を中心としたキャリア教育を行っている。

主な取り組みとしては、1学年では地域について学ぶ「地域学習」、2学年では、勤労観・職業観を育むために、インターンシップを取り入れた進路探求。3学年では、自己実現に向けた進路探求を行っている。また、探究的学習の一環として地域行事（伊良部島の海神祭）へ主体的に関わる活動も行い、生徒が主役となれる場を多く設けるようにしている。

### 2 今年度の就業体験の具体的な取り組み

#### (1) 就業体験実施内容

①期 日：平成30年11月14日（水）～16日（金）の3日間

②対 象：2学年（普通科15名）

③実習先：生徒の社会性や自立心を育むために、ケイオーパートナーズの作成した事業所一覧を用い、1人につき1事業所で職場体験が実施できるよう配置し、宮古島内の保育園、新聞社、老人ホーム、小学校等の15事業所で実施した。

#### (2) 実施計画

日 時	時間	内 容
9月5日	1	事前アンケート
9月12日	1	未来の宮古観光講習会
9月19日	1	マッチングについて説明
9月26日	1	中高合同マナー講座
10月3日	2	マッチング、日誌作りと読み合わせ
10月10日	2	事業所担当職員との顔合わせ、事前準備（日誌記入等）
10月24日	2	事業所への事前アポ取り
11月14日 ～ 11月16日		インターンシップ実施
11月21日	1	お礼状作成
12月12日	2	インターンシップレポート作成

#### (3) 事前学習、事後学習の具体的な取り組み内容

##### ①事前学習

未来設計ノートを使用して、自分を知ることから始めた。9月、那覇日経ビジネスより、講師を2名招き、マナー講座として、挨拶の仕方や身だしなみについて講義をして頂いた。ケイオーパートナーズによって作成された事業所一覧を用い、生徒自身に実習先を選択させた。その際、1人1事業所という条件を与えたことで、同事業所を複数の生徒が選ぶという事態も生じた。決め方として、なぜその事業所を選んだのか、そこから何を学びたいのか等の話し合いをさせ、生徒自身が納得する形で事業所の選択をさせることができた。

また、自己紹介書を作成させたことで、インターンシップへの意識を高めさせることができた。

## ②事後学習

インターンシップの発表会を設けず、学年での振り返りだけを行うこととした。インターンシップ後、お礼状の作成に取りかかり、日誌をまとめながらインターンシップレポート（1人A4用紙2枚）を作成させた。それらを一冊の冊子にまとめ、1年生に配布し、次年度インターンシップへの意識付けを図った。

## 3 今年度の就業・職場体験の成果と課題

### （1）成果

1人1事業所での就業体験を実施することができたため、期間中も事業所の方々と積極的に関わり、様々な話を聞くことで仕事の魅力ややりがい、進路についての考えかた等を学んでいた。生徒の中には、今回お世話になった事業所で、将来「働きたい」と、就職を考える生徒もいた。

事後学習として発表会は行わなかったが、お礼状やレポートの作成を通して、インターンシップを振り返らせ、職場体験だけで終わらせることなく、仕事の魅力や働きがいを考えさせることができた。

### （2）課題

総合学習で使用する「未来設計ワークノート」をもう少し、計画的に使用出来たと思う。インターンシップ実施日までの逆算ができておらず、慌てて作業をすることがあり、生徒及び教員自身も混乱してしまう場面があった。次年度は、「探究学習」の実施時期をずらし、インターンシップ準備に集中できるような実施計画を立てられるようにしたい。

